

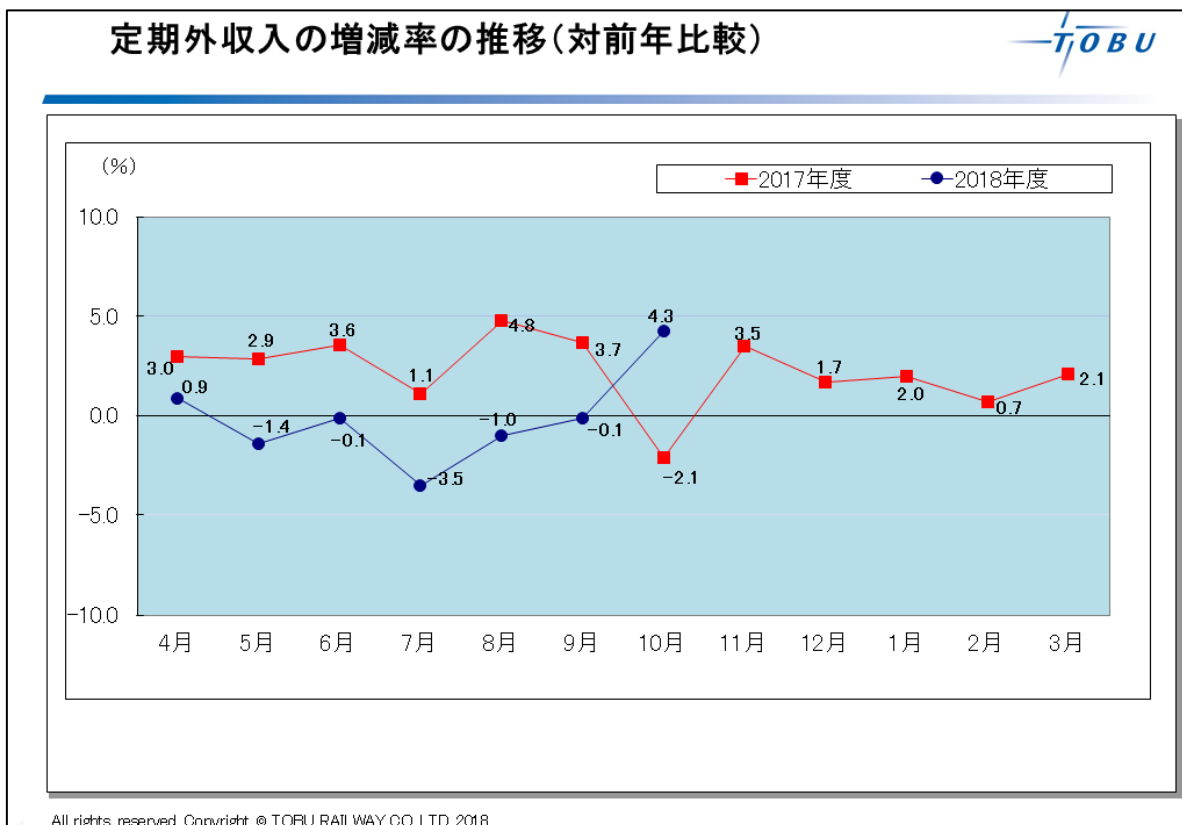
2018年度第2四半期決算説明会 主な質疑応答

※本内容は、書き起こしではなく、説明会での質疑応答の内容を弊社にて簡潔にまとめたものです。あらかじめご了承ください。

【各事業に関するご質問】

- Q. 東武ストアの子会社化によるシナジー効果について、保有資産を活用した出店や複合開発事業等の話があったが、それ以外に、退店含めた出店戦略についてうかがいたい。子会社化したことで、選択と集中が加速していくのか。
- A. 子会社化したことで、当社沿線での出店が多くなると思われる。これまでは300坪程度の店舗であったが、今後は、主にコンビニに対抗するため、100坪程度で食料品に特化した出店を計画している。当社沿線では100坪程度であれば出店余地が多いと考えている。なお、従来型の300坪から500坪の店舗も、場所があれば出店する可能性はある。
- Q. 東京ソラマチの客単価と東京スカイツリーインバウンド比率が対前年同期比で上がったとのことだが、個別に注力した点や、今後も持続するかどうかの見通しをうかがいたい。
- A. 東京ソラマチの売上は、毎年少しずつ伸びている。毎年かなりの数のテナントの入れ替えを実施してきたことが奏功し、それが客単価の増にもつながった。引き続き、テナント入れ替え等の管理をしっかりやっていければ、今後もこの傾向は続くと考えている。
- Q. 上期の成長戦略投資約290億円に、浅草～とうきょうスカイツリー駅間高架下開発の投資は含まれているのか。また、投資規模は今後拡大していくのか。
- A. 290億円の中には含まれていない。北十間川水辺開発を含めた浅草～とうきょうスカイツリー駅間高架下開発の投資額は約14億円程度を見込んでいる。なお、290億円に含まれている浅草等4物件の新規土地・建物取得とは、重点エリアにおける収益力向上のほか、将来を見据え当社事業の更なる拡大、深度化を図るため取得したものである。

【補足資料】



以上